

2005計量記念日全国大会開く

11月1日東京で、大臣表彰は計量関係功労者25氏

新たに「何でもはかってみようコンテスト」

経済産業省・計量記念日組織委員会が主催する「2005計量記念日全国大会」が11月1日、東京・虎ノ門パストラルで行われた。全国から関係者多数が詰めかけた。計量関係35団体と(社)日本計量振興協会の協賛、全国73の計量関係団体の協力で開かれた。計量関係功労者として25氏が経済産業大臣表彰を受けた。計量啓発標語のほか、今年から新たに「何でもはかってみようコンテスト」優秀作の表彰が行われた。特別講演では、カーナビゲーションシステムの開発者が、GPS受信にとどまらない位置認識の進化をわかりやすく紹介した。レセプションは、折しも計量法見直しが進む中、参加者それぞれの立場から、計量行政のあり方をめぐる意見が盛んに飛び交っていた。

第1部の計量記念日式典は、肥塚雅博産業技術環境局長が二階俊博経済産業大臣の式辞を代読した。最近では、消費者の安心・安全への信頼確保、国際整合化への対応など、計量制度はさらに多様な役割が期待されている。7月に計量行政審議会を立ち上げ、新しい計量行政の方向について検討しているが、制度が適切に運営されるには計量に携わる人々の優れた見識と経験が不可欠であると、大臣表彰受章者、参加者を賞賛した。

受章者を代表して大塚淳八郎氏が謝辞を述べた。受章を契機に、一層の精進を重ね、適正な計

量確保に邁進する。今年から、小学生を対象に「何でもはかってみようコンテスト」が行われ、最優秀作品賞1点、優秀作品賞2点が表彰された。最優秀は新藤晃平、早坂尚起、楠作恭明、川島龍弥さん(久喜市立久喜東小)の「点字プロックを数えて距離をはかってみよう・タオルは何メートルの糸でできているのかはかってみよう」。

地道な作業を根気よくやり遂げたことが評価された。最優秀、優秀作品は

小学生の豊かな発想

第2部の記念行事では、今年から、小学生を対象に「何でもはかってみようコンテスト」が行われ、最優秀作品賞1点、優秀作品賞2点が表彰された。最優秀は新藤晃平、早坂尚起、楠作恭明、川島龍弥さん(久喜市立久喜東小)の「点字プロックを数えて距離をはかってみよう・タオルは何メートルの糸でできているのかはかってみよう」。

現在・未来

特別講演は「進化するカーナビゲーション」位置認識からエンタティメントまで」と題し、パイオニア(株)モバイルエンタテインメントカンパニーソフト事業部の安藤齊氏が講演した。1990年に発売した世界初のGPS対応市販カーナビの開発者である安藤氏は、技術向上や制度の変化を取り入れて進化するカーナビの開発につい



ても、さまざまな角度からエピソードを紹介した。最新の製品はGPSによる位置認識だけでなく、渋滞情報(VICS)システムや同じカーナビを積んだ仲間の位置が特定できる機能もある。外付けの利点を生かし、自宅などで得た情報をパソコンからカーナビに記録してドライブに役立てるなど、カーナビは運転に関わる総合的な情報・エンタティメント端末として進化し続ける、とその未来を語った。

都道府県協議会、計量行政室へ要望書

全国一律の水準、国と都道府県の十分な意見交換

都道府県計量行政協議会から計量行政室へ提出した要望書

第3部のレセプションでは、参加者が歓談し、情報交換が行われた。経

に意見を交わす一幕も見られた。中締めで(独)製品

秋の褒章・叙勲(1) 叙勲【旭日小綬章】▽入江照四氏(日本科学機器団体連合会会長) (詳細は次号以下)



計測と科学
日本計量新報社
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112
E-MAIL: jpn@jpn.or.jp
http://www.jpn.or.jp

Yamato
業界初の振動動土振動を
搭載で作業効率アップ
デジタル式上皿自働はかり



今週の主な記事

- ① 計量記念日全国大会、秋の褒章・叙勲、都道府県協議会要望書
- ② 2005全国計量記念日行事(3)
- ③ 祝・計量記念日、団体広告
- ④ 第1計器新製品、産総研一般計量教育
- ⑤ (社)大阪府工業協会、計測器の使い方・校正技術セミナー
- ⑥ 私の履歴書、齋藤勝夫(株)社長、計量ひとくちメモ
- ⑦ 計量標準フォーラム、大臣表彰受章者名一覽
- ⑧ 都道府県のひろば、新製品ニュース
- ⑨ 計量記念日特集(2)

17 計行協第22号
平成17年10月27日

経済産業省
計量行政室長 數内雅幸 様
都道府県計量行政協議会
全国世話人 森紳彦 様

計量制度見直しに関する都道府県意見の反映について (要望)

平素、計量行政の推進につきましてご指導いただいておりますこと、感謝申し上げます。

この度、計量行政審議会を開催し平成4年度以来となる計量制度の抜本的な見直しに着手されたことについて、心から敬意を表するものです。

一方、都道府県においては、技術職員の高齢化・退職を背景とする検定検査等の技術継承や人員確保の問題、行財政改革を中心とする事業の見直しなど、機関委任事務時代には見られなかったような大きな変革の時期を迎えている状況にあります。

つきましては、今回の計量制度の改正が都道府県計量行政に与える影響の大きさにご配慮いただき、計量制度見直し検討にあたって都道府県意見の反映を図るべく、下記のとおり都道府県計量行政協議会として要望いたします。

記

1 国・自治体(都道府県及び特定市)・事業者との役割と責任を明確にし、全国一律の適正な計量水準の確保が図れるような仕組みにすること。

2 現行の法定計量の枠組みの中で、都道府県はその中核として計量の安全確保を担ってきた。計量制度の見直しにあたっては、検定・検査制度がこれまで果たしてきた役割を踏まえて、自治体の実情に応じた効率的かつ効果的な執行体制が構築できるよう、都道府県との意見交換を十分に行うこと。

日本で唯一のトラック用
軸重 30±
マットスケール
日本ダイナマット株式会社
東京都板橋区新板橋2-1-18 8F
TEL: 03-5965-2031 FAX: 03-5965-2031

産省の職員と地方計量団体の会員が、新しい計量行政の方向について熱心

評価技術基盤機構(NITE) 御園生誠理事長が挨拶した。学術・産業に不可欠な基盤である計量分野をNITEが適正に維持できるように、今後とも計量関係者から指導を賜りたい、と締めた。